

From the Editor

デジタルテクノロジーを駆使したイノベーションは、期待の時期を過ぎ、現実解を生み出す時代に入っている。今号のSOFTECHSも、そうした潮流を色濃く反映したものとなった。

■ 15分で読める「RPAを一人で始めて、会社を巻き込むコツ」

ルールエンジンなどを活用し、主にホワイトカラー業務を効率化・自動化するRPA。2017年以降に急速に普及しているが、未導入で検討中や製品選定中の企業も多い。そうした企業向けに、当社がRPA導入支援サービスを提供する中で得た導入の勘所を紹介している。導入時に発生しやすい課題とその対応策について、概念的でなく、実践的、具体的に書いており、未導入企業ばかりでなく、導入中で課題に直面している企業の担当者にも参考になろう。

■ 超高速開発に関する当社の取り組み～超高速開発プラットフォームAZAREA(アザレア)～

超高速開発、あるいはノーコード/ローコード開発と呼ばれる、効率的で生産性の高いシステム構築手法が拡がりつつある。そこにカテゴリ化されるツールやプラットフォームも様々登場しており、それらは大きく3つに分類される。そのそれぞれの特徴や適した用途などを解説し、当社の超高速開発に関する取り組みを報告している。

■ 中国市場における感情認識AIの応用研究から商業化への道

中国のデジタル化は日本の先を行っており、デジタル化の発信地としての注目度は日本をはるかに上回っている。その中国から、感情認識AIを応用した「教育表情認識AI評価システム」の開発・活用と、他業界への今後のビジネス展開について報告している。感情認識AIの教育現場での活用は、試行段階では日本が先んじたが、市場が受け入れるスピードは中国のほうが速いようである。

■ AWSでのインフラコード管理への取り組み

当社は2012年4月にAWSを活用したクラウドサービスをリリースした。当社サービスを利用すれば、特有の知識や技術を習得しなくてもユーザーはAWSを活用できる。しかし、当社が標準で用意するサービスの範囲外の利用ニーズも少なくない。その部分に、コードによってITインフラを管理する「Infrastructure as Code」という考え方を具現化したインフラ構成管理ツール「Terraform」の活用により応えようという取り組みの報告である。

■ 医薬品情報提供ソリューション開発の取り組み

医薬分野にはIT活用に積極的な企業が多く、近年はデジタルテクノロジーの活用意欲が高い。そうしたデジタル化の潮流を背景に、ユーザーニーズから生まれたのが医薬品情報提供ソリューションだ。AWSのサービス群を活用することで素早く作ってすぐに運用し、その結果を踏まえてまた別の機能の実装に向かう。今も進化中のソリューションだ。

■ 感情認識AIへの取り組み、この1年

人間の感情を推定・認識するAI技術、感情認識AI。2018年は、この技術への社会の関心の高まりを強く感じさせた。当社がリリースした感情認識AI関連サービスがテレビ番組やWebメディアの記事に取り上げられることも増えた。そうしたテレビなどでの利用事例を交えつつ、ここ1年ほどの感情認識AIへの取り組みをまとめている。別稿の中国での商用化事例紹介とあわせてご覧いただきたい。

■ 我が国ITサービス産業の収益性向上への取り組みについて—JISA生産性・収益力向上委員会活動から—

情報サービス産業協会(JISA)は、デジタル時代をリードすべく様々な取り組みをしているが、一方で既存のサービス領域をどのように進化させていくかも会員各社の重要な経営課題となっている。その課題に取り組んだ生産性・収益力向上委員会には当社も深く関わっていることから、2年間の活動を本稿にまとめた。

当社は今年、「新デジタルビジネスを成長の柱とするモデルへの変貌」をビジョンに掲げた中期経営計画の2年目を迎えた。その活動を反映して今後も、デジタルイノベーションをドライブする有益な情報を小誌でお届けしていく考えである。

(K)